

名古屋地域

2026. 1

「いつも元気」雨天のくま集会	団キャンプ
<p>名古屋北斗地区副コミッショナー カブ担当北川 菜穂子</p> <p>名古屋北斗地区の「くま集会」が11月9日（日）に開催されました。天気予報通り朝から雨の絶好の訓練日和の中、北斗地区のくまスカウト21名の内14名が参加しました。名古屋第13団の団本部である主税町教会からポイントハイクに出かけ次々と課題をクリアしました。その後キャンプファイヤーで歌やスタンツで楽しいひと時を仲間と過ごしました。今回の厳しい条件の中「いつも元気」のモットー通り活動しそこで育てた精神面の強さやそこではぐくんだ友情をもって来年ボーイスカウトに上進してくれることを希望します。</p> 	<p>名古屋異地区名古屋第102団ベンチャースカウト 田中 力</p> <p>8月15日～17日に野底山キャンプ場で名古屋第102団の団キャンプが行われました。今回ベンチャーチームはカブ隊の支援として基地作りを企画しました。安全性の高い竹の組み方を考え設計図を作成し、現地で竹を分けてもらい立派な秘密基地を作りました。ベンチャーチームで基地の基礎を作り、カブスカウトにロープの結び方を指導しながらカブ隊のみんなで丈夫なハシゴを作りました。ベンチャーチーム4人とカブスカウト4人が同時に乗っても壊れない安全な基地ができ、最後にはカブたちだけでベンチも作っていました。完成した基地でお菓子を食べたりしてカブスカウト達を楽しませることができました。</p> 
<p>「めっちゃ楽しかった！」親子でポイントラリー、かるたとり</p> <p>名古屋西部地区 名古屋第23団 CS隊長 恒川 智行</p> <p>23団の“伝説行事”？「熱田神宮スカウト親子運動会」を8年ぶりに開催、ビーバーからローバーまでのスカウトと親子、入隊希望の親子も含め約90人が参加、11月の柔らかい日差しの中で清々しい1日を過ごしました。午前中は大高緑地公園の7カ所のポイントを探すラリーに参加、そこで出題される謎解きに挑戦です。早いスカウトは40分足らずで「できた！」と駆け足で戻り、正解スカウトが大半で疲れた様子もなく「簡単だったよ」とみんな笑顔でした。家族で昼食後、まずチーム戦で「巨大かるたとり」です。4チームで競い合い、タッチの差でゲットするとチームは大盛り上がり。さらに、ゲットしたかるたで文字を作る「かるたDEことばあそび」は、「動物の名前」などのお題にできるだけたくさん文字を使っての言葉作りに大苦戦。限られたかるたの中で、「欲しい文字がない！」と一喜一憂しながら「難しかったけど、楽しかった！」と記念写真にみんな笑顔でした。</p> 	<p>地区ベンチャーコンボイ章取得移動キャンプ</p> <p>名古屋千種地区副コミッショナー 中村恭章</p> <p>名古屋千種地区では、各隊のベンチャーチームが合同でコンボイ章取得のための移動キャンプを実施している。昨年度までは岐阜県瑞浪市から岩村で実施展開していたが、今年度は長野県飯田市から駒ヶ根市に変更して実施した。実施を目前にした10月中旬に全国各地でクマによる被害事例が多数報告され、1日目のキャンプ予定地だった飯田市のキャンプ場がその影響で閉鎖されてしまった。急遽キャンプ場を変更しての実施だった。幸いにも実施中にクマの出現はなく無事に終えることが出来たが、実施期間中のクマ対策には最善の注意を払った。秋の飯田路は雪をかぶった中央アルプスや南アルプスの山々を見ながらのハイクで、スカウトからは「こんなに間近に山が迫ってすごい景色だ！」との感嘆の言葉が何度も聞かれた。3日間の移動距離約35kmを元気に走破した。</p> 